

結婚新生活支援補助金交付申請書兼実績報告書

年 月 日

熱海市長 あて

住 所
申請者 氏 名
電話番号

補助金の交付を受けたいので、熱海市結婚新生活支援補助金交付要綱第6条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

1 申請内容

婚 姻 日	年 月 日		
新居に住民票を置いた日	(夫) 年 月 日	(妻) 年 月 日	
費用内訳	住 居 費 (取得又はリフォーム)	契約締結年月日	年 月 日
		契約額	円
		領収書記載額 (A)	円
	住 居 費 (賃借)	契約締結年月日	年 月 日
		賃 料 (a)	月額 円
		勤務先からの手当 (b)	月額 円
		実質家賃負担額 (c)	月額 円× 月
		((a) - (b)) × 月数	= 円
		敷 金 (d)	円
		礼 金 (e)	円
		共 益 費 (f)	月額 円× 月 = 円
	仲介手数料 (g)	円	
	小 計 (B) (c)+(d)+(e)+(f)+(g)	円	
	引 越 費 用	引越年月日	年 月 日
領収書記載額 (C)		円	
合 計 (D) ((A)又は(B) + (C))	円		
前年度交付確定額	円		
補 助 申 請 額	円		

備考

- (1) 「前年度交付確定額」には令和5年4月1日から令和6年3月31日までの間に本補助金を受給した額を記入してください。
- (2) 「補助申請額」には (D) の額又は30万円（婚姻日における夫婦の年齢がともに29歳以下の場合は60万円）のいずれか低い額を記入してください。ただし、前年度受給者については、(D) の額又は30万円（婚姻日における夫婦の年齢がともに29歳以下の場合は60万円）から「前年度交付確定額」を差し引いて得た額のいずれか低い額を記入してください。
- (3) 「補助申請額」に1,000円未満の端数があるときは、それを切り捨ててください。

2 確認（該当する項目の□にチェックを入れてください。）

申請者	<p><input type="checkbox"/> 補助金の交付を受けた日から3年以上、市内の住宅に定住する意思を持っています。</p> <p><input type="checkbox"/> 過去にこの要綱に基づく補助金又は他の地方公共団体による同種の補助金の交付を受けていません。</p> <p><input type="checkbox"/> 暴力団員等ではありません。</p> <p style="text-align: center;">申請者名 _____</p>
配偶者	<p><input type="checkbox"/> 補助金の交付を受けた日から3年以上、市内の住宅に定住する意思を持っています。</p> <p><input type="checkbox"/> 過去にこの要綱に基づく補助金又は他の地方公共団体による同種の補助金の交付を受けていません。</p> <p><input type="checkbox"/> 暴力団員等ではありません。</p> <p style="text-align: center;">配偶者名 _____</p>

3 添付書類

- (1) 戸籍抄本又は婚姻届受理証明書等の婚姻日が確認できる書類
- (2) 住民票の写し（世帯全員の記載があるもの）
- (3) 夫及び妻の所得の額を証明する書類
- (4) 市税等の滞納がないことを証明する書類
- (5) 結婚新生活支援補助金請求書（様式第2号）
- (6) 貸与型奨学金の返済額が確認できる書類（貸与型奨学金を返済している場合に限る。）
- (7) 住宅の売買契約書又は工事請負契約書及び領収書の写し（住宅を取得した場合に限る。）
- (8) 住宅のリフォームに関する工事請負契約書又は請書及び領収書の写し（住宅をリフォームした場合に限る。）
- (9) 住宅の賃貸借契約書の写し（住宅を賃借した場合に限る。）
- (10) 賃料等の領収書又は支払額が確認できる書類（住宅を賃借した場合に限る。）
- (11) 引越しに係る領収書の写し（引越費用に係る補助金の交付を申請する場合に限る。）
- (12) 夫及び妻の住宅手当の支給状況を証明できる書類（住宅を賃借した場合であって、給与所得者である場合に限る。）